



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和7年度学校だより
No. 7 9月号
令和7年9月1日(月)

燐々照今よりよき今をともに創らん

残暑きびしき九月かな？

いよいよ9月1日になりました。切りもよく、今年の夏休み明けは、月曜日からの始まりです。中には「今週は夏休み明けに五日もある」とぼやきめいたことを口にしたい人もいるかもしれません、これも時の巡り合わせです。まずは、気持ちを学校モードにスパッと切り替えて、いつまでも、夏休みの生活を引きずらないようにしましょう。ほんの一昔前に遡れば、9月の一週目の週末は体育祭、授業よりも、体育祭の練習と準備に明け暮れる日々が学校文化のお決まりでした。学校も世の中も変われば変わるものです。ここまで暑いと昔のようにはいかないよ、というのもごもっともな意見ではありますが、暑さのせいでこんがりと日焼けし、体育祭の当日は汗と土埃でドロドロになる、そんなかつての体育祭が懐かしく思い起こされます。

さて、今年の9月の登校日は全部で20日間です。昨年度との違いを取り上げれば、明日9月2日に期末テストがあります。反省を踏まえて、特に、3年生が前期中に一回の定期テストで成績が決まることがないように、仮に中間テストで思うような成績が残せなくとも挽回の機会になるようにという意味も込めての期末テストの実施です。若い皆さんには、テストの5分前まで成績を伸ばすことは可能です。普段の学び舎、教室での受験ではありますが、緊張感をもってテストに臨んでください。それからもう一つ、昨年度と違うことは、新人戦の日程が一週間後倒しになったことです。その分、今年の新チームは、どの部活動も一週間分多く練習をして新人戦本番に臨むことができます。ただ、このことは他の学校も同じですから、条件は一緒です。三年生を中心としたチーム、総体の結果に負けないように、というような気持ちになつても不思議ではありませんが、比較ではなく自分たちは自分、とにかく練習の成果を発揮することに専念してほしいと思っています。9月の残暑は厳しいだろうという予報が出ていますが、暑さに負けない心身の健やかさを、生活リズムを整えることで作り出してほしいです。



さて、夏休み中のことについてもう少しだけ綴ります。

総体での大活躍については前号で触れました。中央地区的コンクールを1位で勝ち抜いた吹奏楽部は8月12日に行われた県大会をさらに勝ち抜いて東関東吹奏楽コンクールへの出場を決めました。学校沿革誌上、佐野中79年の歴史において初めての偉業です。おめでとうございます。今週、残りの限られた時間にやるべきことをやって、大きな檜舞台に県の代表として胸を張って演奏をしてほしいと思っています。

そしてもう一つ、英語のプレゼンテーションフォーラムについてです。7月15日に行われた市のフォーラムを勝ち抜き、ひたちなか市からは5校が中央地区的フォーラムに進出しました。さらに8月1日実施のフォーラムを勝ち抜いて、中央地区からは全部で7校、ひたちなか市からは1校が県のフォーラムに進出しました。会場はつくば国際会議場、とても立派な施設です。本校からは3年生5名の女子生徒が出席しました。それぞれに他に部活動があるため、何とか時間を作りだして、練習を重ねてきました。三つのフォーラムすべてにおいて生徒の発表の様子を見てきましたが、佐野中の生徒は市よりも中央、中央よりも県と確実に実力を高めました。明らかに成長していることが感じ取れました。指導した先生の熱意を受け取って、自分たちの力に変えることができました。ときにその英語の運用能力の高さは舌を巻くほどで、驚きました。若いということは本当に素晴らしいことで、あの短期間に目に見えて感じ取れる進歩・成長を遂げたことは本当に嬉しい限りです。結果が全てではありませんが、まずは思いをもって行動を起こすことで形になります。何もしないでいるのはもったいないです。貴重な経験とともに印象に残る思い出を創りだした皆さんに拍手を送ります。